

今後の課題の整理の方向性について（案）

1) CHASE で収集する項目の選定に関する基本的事項について

- CHASE で収集する項目については、中間とりまとめに示された項目を基本としつつ、以下①～③の基準に従って項目に優先順位をつけていくこととしてはどうか。

① **信頼性・妥当性**があり科学的測定が可能なもの

- **信頼性**：再現性や一貫性等の観点から、同一の条件で同一の結果が出るかを指す指標。
- **妥当性**：測定したい対象をどれだけの確に測れているかを指す指標。

② データの収集に新たな負荷がかからないもの

- **国内で使用頻度が高く、事業所等において既に収集しているもの**：
例) 既往歴：ほとんどの介護サービスで収集されている
- **報酬の加算要件等になっているもの**：
例) ADL 維持等加算： Barthel Index
栄養スクリーニング加算： BMI 等

③ 国際的に比較が可能なもの

- **国際的に使用されている評価項目**
例) ADL： Barthel Index、栄養： BMI、認知機能： MMSE、褥瘡の重症度分類 等

※ ①②に関しては、収集する上での専門職の関与のあり方を含め検討が必要ではないか。

→ 次回、ヒアリングを実施してはどうか

- 各項目について、収集の対象とする事業所等における負担等を考慮しつつ、既に事業所等にある情報等を踏まえ、項目を分類して検討してはどうか。
 - 収集対象等
 - 1. 基本的な項目：対象とするすべての事業所等において入力を行う項目：
 - 例) 介護被保険者番号、生年月日、既往歴、家族構成、ADL 等
 - 2. 加算を算定している事業所等において入力を行う項目：
 - 例) 加算の様式例に含まれている項目 等
 - 3. その他
 - 例) 各事業所において任意に入力する項目、フィージビリティを検討した上で収集対象とすべき項目 等

- 項目ごとの収集頻度等については、事業所等における負担等を考慮しつつ、現在の加算要件等の状況、項目の特性等を考慮して検討してはどうか。

2) 収集すべき分析・比較可能なサービス行為等の介入に係る情報について

○ 収集した項目を用いて、分析・比較を実施するにあたって、介入に係るどのような情報が必要か。

(例)

- ・ 個々のサービスの介助の内容・介助の程度
例) 離床支援あり／離床支援なし
入浴介助（見守り）／入浴介助（全介助）
- ・ 加算の有無
例) 褥瘡マネジメント加算あり / 加算なし
- ・ 頻度（計画の見直し・会議等）
例) 3ヶ月に1回程度の会議の開催 / 年に1回程度の開催
- ・ サービスに関連する職種
例) 経口維持に関する会議に管理栄養士が参加
／ 管理栄養士が不参加

○ 介助の程度等個々のサービスの方法については、現時点では標準化されたケアコードがないため、介護関連ケアコードを開発する必要があるのではないか。

- 介入に関する国際的な分類としては、WHO で ICHI (International Classification of Health Interventions) が開発中(2018年時点で Beta-2 version が公開)
- 平成30年度から老健事業においても国際的なケアコードの利用可能性について調査を開始

3) フィードバックのあり方について

- 介護利用者や提供者等がデータの分析結果の恩恵を享受できるようにフィードバックできる仕組みが必要ではないか。
 - フィードバックを享受する対象
 - ① 利用者
 - ② 介護者
 - ③ 事業所
 - その他に検討すべき対象はあるか。
例) 自治体(保険者)等
 - 対象に応じた具体的なフィードバックの在り方とはどのようなものが考えられるか。

4) モデル事業等のあり方について

- 実際に CHASE でデータ収集を行っていくにあたっては、優先順位が低い項目も含め、収集項目のフィージビリティ等について、実証的な研究等を行うこととしてはどうか。
 - 調査・研究等にて対応することを検討。
- モデル事業等の結果を踏まえ、CHASE で収集する項目については、更に整理を行うこととしてはどうか。
 - 新たな項目の追加を含め検討することを想定。

5) その他

- 現場のデータ入力負担軽減のため、介護事業所で使用している既存のシステムが、CHASE に対応できるように標準仕様を策定・公開し、これに対応するような CHASE と連携する事業所システムの整備を促進する施策等について検討してはどうか。
 - 介護事業所のシステムで、既に収集されているデータの CSV 連携等
- 今後柔軟に収集する項目の追加等が可能なシステムとして、どのようなものが考えられるか。
 - クラウドシステムや拡張が可能なデータベース形式等によるものを想定。